

評価会議（平成 29 年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

評価点 (配点 25 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	1 8	1 6	2 0

主な意見等

- ・「地域データブック」の必要性を感じる。地域活動協議会単位の客観的データの豊富な提供が必要。
- ・受託初年度ということで、体制の混乱はある程度仕方ないと思うが、来年度以降に期待したい。将来人口推計など地域の将来像を地域の人とも共有しながら、課題の共通認識に努めてもらいたい。
- ・企業アンケートの実施は重要。つながりづくりを大切にすべき。具体策をどんどん打ち上げていって、活かしてほしい。区社協組織内との連携には、もっと可能性があると思う。ニーズの把握は社協でもしているはず。

2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

評価点 (配点 15 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	1 0	1 0	1 3

主な意見等

- ・初年度なので仕方ない面もあるが、事業が年度末に集中しており、その時期だと波及効果は期待できない。
- ・区社協のバックアップが良い方向になっている。
- ・スーパーバイザーの活動の内容が見えない。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	1 4	1 5	1 5

主な意見等

- ・企業へのアプローチは精力的に回られていると思います。

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点 40 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	2 8	3 2	3 8

主な意見等

- ・従来から協議会の構成団体に多様な主体が入っておられる地域なので、その強みをもっと活かされるとよいのではないかと。
- ・企業 393 社へのアプローチは大変良いと思う。評価されるべき。

5 総合評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	A委員	B委員	C委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	B	A
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	C	A
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	B	B

主な意見等

- ・自治会加入率が低い地域で「防災」を軸に、新たな人材の発掘やインクルーシブ防災を意識したつながりづくりに務めていただきたい。
- ・モデル地域方式の取り組みについて、来年度止めるのはなにが駄目だったのか、来年度も取り入れるべき点はなかったのかなど、きちんとした検証をしていただきたい。
- ・社協組織内の連携を強みにして行って下さい。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価（全体）	B	B	A

主な意見等

- ・来年度以降、地域カルテをつくり、それをもとに将来像や優先課題を考えるワークショップを、多くの人を巻き込んで実施していただきたい。
- ・アンケートの調査の実施は評価できます。うまく活かして下さい。
- ・地域カルテ作成と活用を早急にして下さい。
- ・企業へのアプローチ、情報交換会の実施は大いに評価する。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
 A：本市の求める水準以上の効果が得られた
 B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
 C：本市の求める水準の効果が得られていない